

はやしどん
お囃子嫩

京築フェスタin門司港レトロ

9月29日(日)、門司港で京築フェスタが行われ、上毛町からは、成恒子供神楽、友枝子供神楽と私たち、お囃子嫩が出演しました。私たちにとって初めての大きなステージで、観光に訪れた大勢のお客様の前で上毛町伝統のお囃子を披露しました。神輿(みこし)の巡行に際し、ご神体を神殿から神輿に移す際に奏上する神移しの囃子や神輿が集落を巡行する道中で奏上する道囃子の演奏には、たくさんの拍手をいただいた他、京築他地区神楽講の先輩のお囃子奏者にもお褒めいただきました。

京築地区のお囃子はどこも「篠笛・チャンカラ・和太鼓」の三つが揃っており、それぞれ特色があって見て聴いて大いに勉強になりました。

今回、イベントに参加させていただき、上毛町伝統のお囃子を広める機会を与えてくれたことに感謝します。



上毛町ドッジボール同好会～コウゲ・キッズ 第3回コウゲカップ

11月10日(日)、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、山口県から24チーム(コウゲキッズ含む)関係者を含む約500名が上毛中学校体育館に集まりました。

今回も、他の大会にはないユニークな賞と、主に上毛町の地産品を盛り込んだ景品を用意しました。会場の外では、よらんかいによるたこ焼き販売もあり、お客さんも多かったようです。前日からは、ゆいきららを利用し、3チームが宿泊しました。旧校舎を再利用した施設に子どもたちも、大人たちも大喜びでした。

運営は、北九州市と添田町の2チームに協力をいただき円滑に進み、無事に終えることができました。帰り際に、「暖かい大会でした」「素晴らしい大会でした」など、たくさんの労いのお声をいただき、スタッフ一同感激しております。

最後に、大会の結果をお伝えします。

優勝:BLACK DEVILS(福岡県・第1回大会優勝)

準優勝:モンキーパンチ(佐賀県)

3位:スクラムくまもと(熊本県)



友枝子供神楽

3年間の成果を披露

地域づくり活動団体となり3年目の今年、これまでの集大成ということで、子どもだけでの大蛇退治を成功させようと、今年に入り練習を重ねてきました。大蛇退治には独特な言葉の掛け合いがあります。昔の言葉を理解させ、覚えさせるのは、とても苦労しました。また、ジャバラの大蛇を操作するのは、大人でも重いので子どもは無理かと諦めかけていましたが、大蛇担当の小学5年生の2人は、筋力トレーニングで克服しました。

そして、9月29日(日)に門司港レトロで行われた「京築フェスタ」にて、たくさんのお客様の見守り中、イベントのトリとして大蛇退治を披露し、大きな声援をいただきました。本当に感慨深いものがありました。今後は、町内でどんどん披露していきたいと思います。



友枝川を守る会

友枝川河川公園の環境美化活動

友枝川河川公園が町内外の憩いの場所となるよう河川清掃、100本の桜の管理、水生生物観察での水質検査など環境美化活動を行っています。

9月8日は、男女36名が集まり、男性は、周辺の草刈り、女性は30箱のプランターと紫陽花の周りの草とりをしました。猛暑の中の作業でしたが、見違えるようにきれいになりました。また、今年の猛暑の影響で9月に入ってケムシが異常発生したため、9月13日、18日の2回にわけて、消毒を実施しました。

今後も「友枝川ふれあいの里づくり」を推進していきます。



11月に友枝川の桜がきれいに咲きました。

築上東 Music-Lovers' 巢雁コンサートプロジェクト

秋の夜を音楽で熱く

11月16日(土)、第10回チャリティーマルシェさがりコンサートを開催しました。今回は初めての試みで「歌ってみshow」と題して出場者を募り、私たちの伴奏による「のど自慢」を開催しました。

まず、朗々とした声が会場中に響き渡る東上詩吟の会の方々に始まり、子どもたちの元気な歌声や日頃から練習された歌い手さんが気持ち良さそうに歌っているのを観ていると演奏するメンバーも気持ちよくなります。また、こうげマン、旅一座の水戸黄門の一行やイギリスから駆けつけた出場者の方などが登場し、場内は大爆笑と大拍手に包まれました。さらに、「君といつまで」の曲に合わせ「しあわせだなあ・・・」の台詞を奥さんに囁く新婚さんへのささやかなお祝いをするなど、東上集会所に集まった約150名の方が熱いひとときを過ごしました。

今回も多くの方にお世話になりました。ただただ感謝です。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。



吉岡巨石塚保全グループ

200年前ののろしを再現!!

9月28日(土)、吉岡の雄熊山でのろしりレーが行われました。京築地域と大分県北地域の東九州自動車道開通を契機として、地域の魅力発信に貢献できるよう県域を越えた取組みで大分県宇佐市の大蔵山から福岡県荊田町の松山城跡までの距離、約65kmを約1時間、8地点をのろしで繋がります。

のろしは江戸時代的高速通信網で歴史・文化を共有する「とよのくに」にはのろし台跡や地域の歴史的な資源が残っています。のろし台は幕末に起きた黒船来航に危機を感じた江戸幕府が各藩に命じて設置させてものです。雄熊山にもろし台跡あり、以前から草刈りなどの保全活動を行っていました。

この日はドラム缶に薪や生枝を詰めスタンバイ。多くの人が見守り中、無事着火することができました。白煙は中津城からもはっきり確認することができたそうです。のろしりレーが行われた後は山から中津方面を眺めながら参加者と交流を深めました。これからも雄熊山を多くの方が訪れてくれるように活動していきます。



友枝新聞発行し隊

わくわく友枝瓦版22号発行！

年4回発行している友枝瓦版の22号を発行しました。あんな人・こんな人では上毛町出身のバリトン歌手、新見さんや上毛祭などをはじめ、町内で行われたイベントや出来事をスタッフ自ら取材、編集し読者の皆さんに少しでも多くお届けできるよう今後もがんばります。現在定期購読をしてくれる方や広告掲載を募集しています。詳しくは下記までご一報ください。

問い合わせ先 友枝新聞発行し隊 ☎ 72-2888(藤本さん)

